

第5号様式（第7条関係）

会議録

会議の名称	平成29年度 清須市文化財保護審議会
開催日時	平成30年3月22日（木） 午後1時30分～3時00分
開催場所	清須市役所北館 2階 第1・2会議室
議題	1. あいさつ 2. 委嘱状交付 3. 委員長・副委員長選出 4. 議題 (1) 平成29年度事業報告について (2) 平成30年度事業計画について (3) その他
会議資料	・会議次第 ・資料1 平成28年度事業報告について ・資料2 平成29年度事業計画について ・資料3 清須市文化財関係等一覧表
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	2人
出席委員	後藤委員、箕浦委員、加藤（富）委員、水野委員 津田委員、加藤（安）委員
欠席委員	2人
出席者（市）	齊藤教育長、寺井教育部長
事務局	（教育部生涯学習課） 栗本教育部次長兼生涯学習課長、近藤主幹、藤田副主幹、柴垣文化振興係長、葛西主査、前田歴史文化振興嘱託員、武馬歴史文化振興嘱託員
会議の経過	1. あいさつ 教育長あいさつ 2. 委嘱状交付 机上交付

3. 委員長、副委員長選出

指名推薦により、後藤委員が委員長に、後藤委員長の指名により加藤（富）委員が副委員長となった。

後藤委員長及び加藤（富）副委員長よりあいさつ

4. 議題《意見の要旨》

(1) 平成29年度事業報告について

事務局より、別紙資料1、3に基づき文化財保護に関する平成29年度の実業報告について説明。

○箕浦委員 西枇杷島問屋記念館の奥の展示スペースは開館以来展示内容が変更されていないようだが、問屋記念館の魅力向上のために展示を変更してはどうか。

●事務局 現在は、開館当初から小田井の市の創始者の野口家の子孫で、「尾張名所図会」の編纂で名高い野口道直に関連する展示をおこなっている。現在、江戸時代に小田井の市で取引されたこの地域の産物の紹介等新たな展示を検討し、資料調査を行っています。

○加藤（安）委員 「(2)埋蔵文化財の保護」に関して埋蔵文化財の届出のうち民間開発の94条関連は、現在、162件とのことだが、清洲城下町遺跡が何件、朝日遺跡が何件といった具体的な内訳は、把握されているか。

●事務局 清洲城下町遺跡がほとんどで、朝日遺跡、廻間遺跡、土田遺跡で各5件程度と把握しております。

○津田委員 「(5)歴史文化振事業」の市で所蔵する資料の調査・整理は具体的にどのような資料を扱っているか、また、専任の方はおられるのか。

●事務局 新川町史編さんに関係して寄贈を受けた資料や清須市に合併以前の旧町で収集された未整理の資料がある。これらの、クリーニング・台帳作成・データベース化を随時行っている。資料の種類は文献資料から民具資料まで多岐にわたる。歴史文化振興員2名でその作業にあたっています。

○水野委員 文化財講座・講演会、毎年面白いテーマで企画されている。しかし、受講者数でいうと今年度の文化財講座は、講師が中京大学教授の播磨良紀先生と考えると少しさびしい印象を持った。三河方面だと講演会で200～300名集まることも聞く。清須市は織田のメッカであるし、文化財講演会も長い歴史がある。情報が十分に届いていないと考えられる。何か良いPR方法を工夫されてはどうか。

○加藤（富）副委員長 今年度も新たな指定物件はないようだが、年に1件でも指定物件があるとよいのでは。春日公民館内に文化財を収蔵されているということだが、収蔵場所を増やす工夫をしてもらうといいのではないか。

○後藤委員長 「2文化財保護関連予算」で平成29年度に指定文化財補助金と西枇杷島問屋記念館費が減少している。何か理由があるのか。

●事務局 指定文化財補助金は、平成28年度に愛知山車祭り保存協議会という民間の山車の保存団体の総会が清須市で開催され、そこで、2団体がからくり・お囃子の上演をおこなったため補助金を支出している。また、西枇杷島問屋記念館については、平成28年度にAEDという救命救急の機器の更新がありました。それらがあったので、平成28年度は例年より予算が多かったということです。

(2) 平成30年度事業計画について

事務局より、別紙資料2に基づき文化財保護に関する平成30年度の事業計画について説明を行った。

○後藤委員長 「4.施設管理・運営」に「各方面からの寄贈～」とあるが、具体的にどこからどのようなものが集まって、どのように保管し公開されているのか。

●事務局 寄贈先は主に市民で、資料は古文書等の文献資料から江戸時代・近現代の民具資料等多岐にわたる。歴史文化振興室でクリーニングや台帳作成等の整理を行った後、歴史資料展示室等で公開を行っている。また、保存箱や中性紙封筒に収納・防虫剤等で保存環境を整え保管を行っている。

○加藤(安)委員 こけら経については、平成29年度に保存処理終了とともに報告書が刊行されると聞いている。ぜひ、市の文化財保護条例に基づいて指定受け、市の文化財として今後も適切に保存していくことが望ましい。審議会で指定の審議の対象とすべきでないか。

●事務局 そのように進めていきたいと考えています。

○加藤(安)委員 「2.文化財保護」(2)調査・研究③埋蔵文化財の調査とある。いよいよ平成30年度に県清洲貝殻山貝塚資料館が着工となる。市民だけでなく県民にも朝日遺跡への関心が高まるまたとない機会となる。これをきっかけとして、朝日遺跡の範囲確認調査を行い(特に302号線北側の北環濠集落部分)国庫補助を活用し、県文化財保護室や県埋蔵文化財センターの援助を得ながら朝日遺跡の基礎資料を積み上げて欲しい。

○水野委員 平成29年度事業報告のように平成30年度事業報告にも可能なら事業予算額を記載していただけるとイメージしやすい。というのも、平成29年度にこけら経保存処理事業が終了すると大幅に予算は減るであろう。それを引きつぐ形で何か保存事業で活用されるのかが見えてこない。

「2.文化財保護」(2)調査・研究の具体的な文化財保護の項目を記載して頂くとイメージしやすい。平成30年度の具体的な活動・計画が見えてこない。

何か計画があればご教示いただきたい。

- 事務局 具体的には、収蔵資料の修繕については、毎年小規模な所蔵資料の修繕を行っている。平成28年度は掛軸の修繕、平成29年度は主に箕浦コレクションの茶道具の桐箱の修繕を行っている。寄贈資料の整理については、平成29年度は約2,000点の寄贈があり整理を行っている。また、埋蔵文化財の調査については、民間の93条関連の届出で、県教委から「工事立会」の指示が下りた物件について年間100件程度浄化槽埋設時等に随時工事立会を行っている。来年度は資料に具体性を持たせ分かり易いものにしていくよう努めます。
- 水野委員 所蔵資料の修繕については、限られた予算の中で修繕をおこなっていると思うが、多数の収蔵資料の中で修繕対象資料をどのように決定しているのか。リストや計画があるのか。
- 事務局 毎年、多数の寄贈がありリストを作成するのが難しい現状である。資料の整理作業を行う中で把握して優先順位を決定している状況。資料の状態や重要性も加味しているが、特に、歴史資料展示室での公開等で活用が見込まれるものについて優先して修繕を行っている。
- 水野委員 長期的な計画を持って、早急な修繕が必要な資料の存在を把握し予算請求を工夫していただけるとよいかと思う。

(3) その他

清洲城下町遺跡出土柿経について

- 事務局 平成29年度清洲城下町出土柿経保存事業が完了。平成30年度に市の指定文化財とすることを予定している。そのため、指定にかかる審議・答申のため文化財保護審議会を6月～7月に開催する予定。

きよす歴史フェアについて

- 事務局 例年県教委主催で、清洲貝殻山貝塚資料館で開催していた「DOKI ドキ朝日遺跡弥生体験」を核に市教委・県教委・(公財) 県埋蔵文化財センターの三者で清洲市民センターを会場に開催。市は芸術劇場で歴史講談の上演や体験講座のブースの出展を予定。関連事業として歴史資料展示室での特別展示を(公財) 県埋蔵文化財センターと共催で開催予定。地域の歴史や文化財、朝日遺跡、県清洲貝殻山貝塚資料館のリニューアルに市民が関心を寄せるきっかけとなるよう取り組む。

閉会

会議の結果	審議に関する事項はなし
問い合わせ先	教育部生涯学習課 052-400-2911 (清須市役所南館1階)